

2020年3月27日

CVIT 会員各位

一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会  
理事長 伊莉 裕二



### PCI 手技料についての保険改定の結果について

PCI 手技料について、令和2年4月の最終改定点数が下記のようにになりました。こちらは、途中経過で示されていたものと若干異なります。

#### 記

##### K546 経皮的冠動脈形成術

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1 急性心筋梗塞に対するもの 36,000 点 | (+4,000 点) |
| 2 不安定狭心症に対するもの 22,000 点 | (±0 点)     |
| 3 その他のもの 19,300 点       | (±0 点)     |

##### K549 経皮的冠動脈ステント留置術

- |                         |        |
|-------------------------|--------|
| 1 急性心筋梗塞に対するもの 34,380 点 | (±0 点) |
| 2 不安定狭心症に対するもの 24,380 点 | (±0 点) |
| 3 その他のもの 21,680 点       | (±0 点) |

急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成術は増点されました。しかしながら、ステント留置術の方は増点されず、急性心筋梗塞に対し冠動脈形成術の方がステント留置術よりも高くなるという逆転現象が生じています。

途中経過の段階では、ステント留置術も冠動脈形成術と同様に見直すことを確認しておりましたが、最終的に増点されることはありませんでした。

STEMI に対するステント留置術は、バルーンよりも成績が良いことが様々なエビデンスから示されています。ガイドラインでも第二世代 DES の使用が STEMI に対してクラス1の推奨となっています。この点数の逆転については、明らかにおかしいことですので、今後改正に向けて努めてまいります。

以上